

令和3年度永平寺町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

永平寺町においては、水稻主体の農業生産が従来より展開されており、転作作物においては小麦を基幹作物とし二毛作でソバの栽培・高収益作物として玉葱・ニンニク・スイートコーン等の作付を推奨している。しかしながら兼業農家比率が高く又、従事者の高齢化が進んでおり耕作放棄地（自己保全）の増加が懸念される現状である。

担い手育成を図ると共に後継者育成が課題となっている。更に鳥獣害被害や天候不順による生産意欲衰退もあり農業所得向上が望めない中で、高収益作物の生産に取り組み所得向上に繋げていく必要がある。

2 高収益作物の導入や転作作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

町の推奨園芸品目の作付拡大を図って機械化による労働力の削減等を継続していますが従事者の高齢化・担い手の減少が目立つ為、より良い生産技術の向上と生産意欲を上げるため有利販売に向けた販売戦略・ブランド化の一層の向上を図るよう関係機関と連携して有利販売に対応する。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

中山間を多く抱える地域が多く転作作物の栽培に不利な条件があり、自己保全対応の水田が多数発生しているため現状の状況を点検し畑地及び樹園に誘導できる地域の畑地化を推進する。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米
生産数量の目安に沿った作付面積の確保

(2) 備蓄米
需要に応じた生産量を確認する

(3) 非主食用米

ア 飼料用米
畜産農家と耕種農家のマッチングを基本に需要に応じた生産を進める。

イ 米粉用米

畜産農家と耕種農家のマッチングを基本に需要に応じた生産を進める

ウ 新市場開拓用米

需要者と出荷・販売契約を締結し新市場開拓米へ転換する取組を支援する

エ WCS用稲

畜産農家と耕種農家のマッチングを基本に需要に応じた生産を進める

オ 加工用米

需要に応じた生産量を確保する

(4) 麦、大豆、飼料作物

小麦を基幹作物とし、大豆については二毛作として作付推奨を継続する

(5) そば、なたね

水田活用の為、小麦跡・玉葱跡・ニンニク跡作付推奨を継続する

(6) 高収益作物

玉葱・ニンニク・スイートコーン・人参を地域振興作物とし、作付拡大を推進し、地域のブランド化を目指していく

5 作物ごとの作付予定面積等

作物	前年度作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	令和5年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	642.48	601.53	580.00
備蓄米	19.18	19.18	40.00
飼料用米	2.72	9.08	5.00
米粉用米	5.32	0.00	0.00
新市場開拓用米	5.22	5.22	10.00
WCS用稲	2.11	0.00	0.00
加工用米	8.18	8.18	15.00
麦	98.73	110.08	140
大豆	0.49	0.47	5.00
飼料作物	0.00	0.00	0.00
・子実用とうもろこし	0.00	0.00	0.00
そば	5.98	7.68	80.00
なたね	0.00	0.00	0.00
高収益作物	19.32	15.73	47.00
・野菜	19.26	15.53	46.00
・花き・花木	0.08	0.20	1.00
・果樹			
・その他の高収益作物			
その他			
・〇〇			
畑地化	0.00	0.00	0.00

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	用途名	目標	目標値	
				前年度（実績）	目標値
1	ニンニク・スイートコーン	地域振興作物助成	作付面積	(2年度) 6.82	(5年度) 13.00
2	玉葱・人参	地域特産品目助成	作付面積	(2年度) 9.29	(5年度) 13.00